

国策としての「東北振興戦略」 の策定とその概要

環日本海経済研究所調査研究部客員研究員
中国黒龍江省社会科学院経済研究所研究員

笄 志剛 (Da zhi gang)



2007年2月15日プロポーザルセミナー

ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

中国における東北三省の位置



2007年2月15日プロポーザルセミナー

ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

東北旧工業基地の歴史的沿革

1. 東北経済区概況

— **東北経済区**：東北経済区は遼寧省、吉林省、黒龍江省である所謂東北三省、内モンゴル自治区東部の三市一盟（赤峰市、通遼市、呼倫貝爾市と興安盟）を指し、面積は125.17万平方キロメートル、人口は1億1,741.22万人であり、それぞれ全国の13.04%と9.26%を占める。

行政区画：東北行政区画の東北三省は面積が78.9万平方キロメートル、人口が10,757万人、それぞれ全国の8.2%と8.22%を占めてある。

2. 地域優位性と特徴

①自然資源が豊かであること。②北東アジア地域の中心。③工業基盤が整備されていること。④人材でも優位性が目立っていること。⑤ファンダメンタルズが次第に向上していること。

3. 旧工業基地形成

形成五大基礎：独特な資源の基礎、工業基盤、社会インフラ、地勢的条件、意識形態的基礎。

初期形成と完成：1953年—1965年（ソ連援助項目:57/156）

2007年2月15日プロポーザルセミナー
ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

東北経済区略図



2007年2月15日プロポーザルセミナー
ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

東北振興戦略の国内外における背景 (一)

1. 東北旧工業基地産業特徴

- 鉄鋼、機械、非鉄金属、化学など製造業。
- 石炭、電力、石油などのエネルギー業。
- 飛行機、船舶、武器装備など設備機会製造業。
- 国有企業の比重が高い(80%前後)

2. 東北現象（1980年代中期～国有企業）

長期に形成された計画経済の構造体制上の矛盾が現われ、企業破綻と従業員レイオフに象徴される「東北現象」



3. 新東北現象（1990年代～中期農業全般）

農民の収入低迷、農業効率低下が顕著にあった「新東北現象」

2007年2月15日プロポーザルセミナー ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

下

東北振興戦略の国内外における背景（二）

1. 国内的背景

- ①地域発展の計画配置、共同歩調と新たな工業化
- ②南北（浦東開発、中部崛起）、東西（沿海部開放、西部大開発）の相互依存と地域間競争の加速

2. 国際的背景

- ①WTO加盟後の推進加速と自国の重工業基地
- ②意欲的な北東アジア競争への参入



2007年2月15日プロポーザルセミナー ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

下

東北振興戦略の政策と概要（一）

1. 戦略形成

2002年3月に策定された「第10次五ヵ年計画」で「東北地区など旧工業の調整・改造、資源採掘型都市・地域による持続可能な産業を振興」 2003年3月に公表された「政府工作報告」には東北旧工業基地の調整と改造を支持するという道筋を示した。

2003年8月、温家宝首相が黒龍江省、吉林省を視察し、長春で東北旧工業基地を振興させる会議を主宰し、「東北振興を最優先とさせ、改革の情勢に合わせて加速させるやり方を探る」という講話を発表した。2003年9月10日、温家宝首相の主宰で国务院常任委員会会議では「東北地区等旧工業基地振興戦略の実施に関する若干の意見」の素案を通過させた。

2. 指導機構

2003年12月、国务院東北地区等旧工業基地振興領導チームが創設され、東北三省でも相応した旧工業基地領導チームが成立した。張国宝が初代国务院東北地区等旧工業基地振興領導チーム主任に就任。

2007年2月15日プロポーザルセミナー
ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

東北振興戦略の政策と概要（二）

1. 中央レベルの重要政策

「東北地区等旧工業基地振興戦略の実施に関する若干の意見」（2003年10月国务院11号文献）

「東北旧工業基地を促進するにあたり、対外開放を一層拡大する若干の実施意見」（2005年6月国务院36号文献）

「国民経済と社会発展の第11次五ヵ年計画綱要」（2006年6月）

2. 東北三省独自の重要政策

「遼寧省旧工業基地振興規画」（2004年2月）

「遼寧省国民経済と社会発展第11次五ヵ年計画綱要」（2006年2月）

「吉林省旧工業基地振興規画」（2004年2月）

「吉林省国民経済と社会発展第11次五ヵ年計画綱要」（2006年2月）

「黒龍江省旧工業基地振興総体計画」（2004年3月）

「黒龍江省国民経済と社会発展第11次五ヵ年計画綱要」（2006年2月）

2007年2月15日プロポーザルセミナー
ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

東北振興戦略の段階的な成果と展望 (一)

1. 段階的な成果

①197件の大型プロジェクトを始動

2003年末、国務院東北地区等旧工業基地振興領導チームが第1回目として、総金額610億元にのぼる大型プロジェクトを始動させた。

2005年には、第二回目として、97項目、総額100億元にのぼる大型プロジェクトを始動させた。

②断続的に実行可能な政策を導入

中央による一連のマクロ政策導入によって、2004年から実行可能な政策が相継いで認可された(農業税の全面免除、増値税・所得税改革など)。



2007年2月15日プロポーザルセミナー ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

東北振興戦略の段階的な成果と展望 (二)

2、第11次五ヵ年計画の地域発展と東北振興の続行

①地域発展の総体的戦略の実施

西部大開発の実施を堅持、東北など旧工業基地の振興を継続し、中部掘起を促進し、東部地区に率先の発展で豊かになる地域発展の総体戦略を協調し、地域協調と相互依存の社会システムを健全なものとなさせ、合理的な地域発展の局面を形成させる。

②東北旧工業基地振興の継続

計画では、東北振興の継続を強調する一方、旧工業基地の振興で経済と社会全般を牽引させる意図も随所現われる。



2007年2月15日プロポーザルセミナー ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

東北振興戦略の段階的な成果と展望 (三)

3. 政策提言

- ①政策効果によりで外資進出しやすい（税制、社会保障など優遇政策）
- ②設備機械の基地形成によって外資系企業の現地調達コストが下がる
- ③廉価な労働力資源と巨大な消費市場
- ④日本企業のロシア進出の中継地として期待できる



2007年2月15日プロポーザルセミナー

ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia

ご清聴ありがとうございます

再見！

2007年2月15日プロポーザルセミナー

ERINA Economic Research Institute for Northeast Asia